

平成15年7月4日
原子力安全対策課
(15-41)
<13時30分記者発表>

新型転換炉ふげん発電所での火災警報の発報について

このことについて、核燃料サイクル開発機構から下記のとおり連絡を受けた。

記

新型転換炉ふげん（新型転換炉；定格電気出力16.5万kW）は、平成15年3月29日に運転を終了した。その後、4月7日より原子炉内にある燃料集合体(224体)を取り出し、使用済貯蔵プールに移送する作業を行っている。

本日、11時52分頃、「廃棄物処理建屋1階焼却灰取出室」の火災警報が発報した。

現場の状況をテレビカメラで確認したところ、室内がけむっていた。

12時30分の状況では、火の気は確認されていない。

現在、現場の状況を確認中である。（空気呼吸器を着けて入室）

なお、12時55分、敦賀美方消防組合警防課長により、鎮火確認された。

また、放射線モニタの指示に変動はなく、環境への放射能の影響はない。